

あつまれ!! 消防団員達が見事な操作を披露!

第50回須恵町消防ポンプ操法大会が、7月4日(日)に健康広場(須恵中学校テニスコート)で行われました。

この大会は、火災現場での迅速な行動や的確な操作などを養うための、基本的な訓練となるものです。小型ポンプの部に7分団(14チーム)、自動車ポンプの部に3分団(6チーム)が出場しました。

小さなミスが減点となり、勝敗を大きく左右します。

悪天候の中、団員たちは、長期間におよぶ厳しい訓練の成果をOBや家族などが見守る前で競い合い、周



優勝した須恵分団(左)と本部分団(右)

第3回ワークショップ開催!

須恵町では、第5次総合計画を策定中です。これは、今後10年間のまちづくりの方向性を決める町の最上位の計画です。策定に当たり、より多くの町民の意見を反映するため、行政職員と同一テーブルで将来の須恵町を考える「町民ワークショップ」(全4回)を開催しています。町民20名と町若手職員20名の計40名が、いくつかのグループに分かれ、様々なテーマについて多くの意見を出し合っています。7月13日(火)に3回目が行われました。今回は、これまでにいただいた意見を紹介します。

【第1回 まちの通信簿をつけてみよう】

行政の各部門(①福祉・保健・医療)②教育・文化・生涯学習③都市基盤・生活環境④産業振興⑤住民参画)を5段階で評価してもらい、町の魅力と問題点を抽出しました。その結果、③教育部門が高く、④産業振興は低いという評価ができました。

【第2回 こんなまちにしたい】

第1回で抽出した町の魅力と問題点を基に、10年後の須恵町が「どんなまちでありたいか」ということをテーマに考えていきました。「人が健康で子育てが充実したまち」「自然が豊かで安心安全なまち」「産業が盛んで利便性が高く活気のあるまち」「人と人

とがふれあう人にやさしいまち」など、須恵町への熱い思いを語り合いました。

【第3回 須恵町の将来像】

第2回の「どんなまちでありたいか」というイメージに優先順位をつけ、まちの将来像を考えました。優先順位が上位のイメージは、「自然」「安心」「ふれあい」の3項目で、全体として「自然と調和し安心して生活できるまちを望んでいる」という結果でした。各班の考えた将来像は次のとおりです。

「須みたくなる緑に恵まれた町」

「自然・安全・安心のまち 須恵水く」

「自然・笑顔・田舎 須恵」

「わ・と・こ・の豊かな里」

「Human・History・Nature」



須恵町をどんな町にしたいですか?

楽しい

考古学

35

「須恵の匠」展開催によせて

8月8日から久我記念館で「須恵の匠展 倉島岳山作陶展」を開催します。倉島さんが須恵焼の復興に取り組まれていることから、久我記念館が所蔵する須恵焼も展示しています。須恵焼の匠の技を今回は紹介します。

①染付磁器の茶器の最高峰「祥瑞」写

祥瑞は、染付磁器の茶器の中で最上のものです。中国の明の時代に、日本の茶人の注文により、景德镇で焼かれたものとされています。須恵焼には、窯相形水差が現存しており、窯跡からは内面にキリンを描いた鉢が採集されています。祥瑞の写し方が作られたのは、須恵焼の技術の高さを示しています。

②細い絵付け「萩唐草文」

細い唐草文様が前面に描かれています。印刷ではなく、全て手描きです。線の細さが変わることなく、器全面に描かれた唐草は、絵付職人の技術の高さを示しています。

(啓)



染付忍冬文輪花形向付



染付祥瑞写丸文圓形共蓋水指